



前橋工科大学

令和3年12月発行

<https://www.maebashi-it.ac.jp/kouenkai/>

後援会会報

Vol. 24

Maebashi Institute of Technology Supporter's Association



前橋工科大学 建築学科2年 ダンボール椅子

後援会会長 挨拶

困難を乗り越え、 実り多き学生生活を



令和3年度
前橋工科大学後援会
会長
飯井 雅裕

日頃より前橋工科大学の後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

日頃より前橋工科大学の後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、大学も現在に至るまで授業や諸行事に大幅な変更を余儀なくされてきました。前橋工科大学では、感染状況によって様々な対応を行いながら、なるべく対面での授業が開催できる体制をつくって頂き、大変感謝しております。学生側もSNSなどのテクノロジーを駆使し、コミュニケーションを絶やすことなく学生生活を送り、若者らしい柔軟な発想での活動に頼もしさを感じております。まだまだ先行きが見通せない状況が続いておりますが、現実から目をそらさずに、「今できること」の中から実り多き学生生活を送っても

当後援会は学生の学生生活と大学の事業を支援し、大学の発展に寄与することを目的として活動しております。具体的には、英会話教室の開催やTOEIC受験料補助などの教育活動支援事業、キャリア手帳作成など就職活動に関する支援事業、学生団体活動や生協利用など福利厚生に関する支援事業などをおこなっております。昨年度はコロナ対応として、加湿空気清浄機や非接触型体温計・消毒機の設置なども行いました。

今年度も会員皆様のご意見をお聞きしながら大学と連携・協力を図り、学生に寄り添った事業をすすめていきたいと考えております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

新たな時代の
羅針盤に

理事長

福田 尚久



本学学生の保護者で構成される後援会会員の皆さまには、日頃より本学に対し様々なご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

私は、本年4月に理事長に就任いたしました。本学をさらに飛躍的に発展させることが自分の使命であると受け止めております。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス対応を余儀なくされる中、学生及

び教職員は、我慢を重ねながら、新たな学習の在り方に関して創意工夫を行いながらの取り組みをしてきました。前期においては大半の期間を対面授業とし、工学の基本となる実験・実習を実施し、充実した教育を行うことができたものと捉えております。

一方で、新型コロナウイルスは、社会の在り方、仕事や家族の在り方を根本から考えさせる機会を世界中の人間に与えたことも事実です。奇しくも21世紀に入ってからのご20年において、デジタル技術の進展、生命科学の発展、デザインを意欲した物づくり等が進みました。本学は、工科系の大学として、まさにこの20年における技術の進歩を研究・教育しています。その意味では、アフターコロナの社会の在り方を示唆し、提言していくこと、即ち、新たな時代の羅針盤

になることが、本学に求められていると考えております。

本学は現在の6学科体制から、来年度入学生から2学群体制へ移行し領域の大括り化をして、教育・研究の多様化に対応していくような準備を進めております。新しい形での教育を受けた学生は、社会に出た時に、これまでにない新たな力となって社会の進展に大きな役割を果たすことができると考えております。

現在、在学中の学生は現在の体制で、来年度入学生からは新しい体制という2重構造での教育が進みますが、それぞれを充実させ、社会に適應できる人材を育ててまいります。

最後に、後援会員の皆さまのご健勝・ご活躍をご祈念申し上げますとともに、後援会のさらなる発展をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

デジタル社会と
アナログ感覚

学長

今村 一之



史上初コロナ禍で東京オリンピックが行われた。

開会式での1000台を超えるドローンを制御して地球表現の演出には、目を見張るデジタル技術の進化に驚いた方が多かったのではないだろうか？

私の恩師は、「オリンピックとは何か」と言えば、人間の中で感覚が動物に近い人達が、誰が最も動物に近い



凄いい感覚を持っているかという競争をするところであると述べた。オリンピックのレスリングで優勝した人間と、仮に同じ大きさで仮定したネコが争えば、人間はネコの足元にも及ばないだろうと述べ、デジタル文明によって人間のアナログ的な感覚が劣化していることを指摘し、このアナログ感覚を忘れてはいけないと警鐘を鳴らした。脳科学者の一人として恩師をあえて批判すれば、ヒトはネコに比べて前頭葉が格段に発達しており、「意志の力と学習」によって自らの運動能力を高めていく能力を有している。従って、足元にも及ばない人間がやがてネコに勝つことができるようになる。

もつともアナログ感覚の重要性を指摘するためにデジタル文明を否定



ありえない立方体

する必要はない。これは相反する概念でありながら、相互補完する概念でもあるからだ。寛容で包括的、デジタル文明をその翼の下にしっかりと抱き、その正しい行く手を指し示すことのできるテクノロジがこれからの時代を牽引していくであろう。

これまでの本学後援会の皆様のきめ細かい学生支援に対して、心より感謝申し上げますとともに、来年度の学科再編をはじめ、これからの時代をリードしていく若者の育成を目指す本学の挑戦に変わらぬご支援を賜りますよう重ねて御願い申し上げます。

その1

前橋工科大学が生まれかわります！

県内大学最速の
新ネットワークシステムが始動

前橋工科大学では、令和4年4月の学科再編に先駆けて、令和3年9月から新ネットワークシステムの運用を開始しました。

県内大学では最速を誇る圧倒的なスピード、最新WiFiアクセス導入による多数同時接続の実現、学内にきめ細かく張り巡らされ、途切れることのないWiFi環境を整え、BYODを用いた最新データサイエンス教育に取り組むなど、これからの時代を担う人材の育成に努めていきます。

① 圧倒的なスピード

有線回線で10Gbps、無線回線で10Gbps、大学全体で20Gbpsの通信速度は県内大学では最速を誇ります。

② 多数同時接続

導入WiFiは、最新規格のWiFi6であり、アクセスポイント1台につき50台のネットワーク機器の同時接続が可能で、標準的な授業の受講者全員をカバー可能となりました。

③ 途切れることのないWiFi環境

学内のWiFiアクセスポイントは120台。本学の建屋内では電波がほぼ網羅され、フロアを移動しても途切れることがありません。学習や研究、食事や休憩中にも利用可能です。

後期から1年生にはBYODが導入されますが、大人数で同時にアクセスしても速度低下がおきずらく、オンライン授業に映像つきで全員参加しても回線が不安定になりません。ハイブリッド授業への対応も可能となりました。

また、Web閲覧等の制限も緩和され、自習室や研究室でのPcアクセスも可能となります。

（注）BYODとは…「Bring Your Own Device」の略称で個人が所有するPc等の端末をキャンパスに持ち込み、学習・研究用として活用すること。

令和3年度 入学式

令和3年4月5日(月)、昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)で、入学式を挙行了しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止及び安心安全の規模を縮小し、新入生及び教職員のみで執り行われました。

工学部292名、博士前期課程66名、博士後期課程4名、研究生2名、以上364名が入学しました。

学長から

「皆さんは、新型コロナウイルス感染症の爆発的拡大の中、受験勉強には例年以上の努力をし、入学試験に合格をし今日を迎えられました。

大学に入学して学問を修めていく際に本当に競わなくてはならない相手は、他人ではなく過去の自分自身です。昨日の自分と比べてどれだけ成長できたかが重要なのです。失敗するのは挑戦している証拠ですので、いろいろな事に挑戦してください。

前橋工科大学における生活が、知的創造と豊かな人間性を育むことを願います。」

と、入学される皆さまを歓迎した、式辞がありました。

新入生代表者から

「学則を守り勉学に努め、品性の陶冶に努力し、学生としての本分を全うし、本学開学の精神に沿い、学風の確立に邁進することを誓います。」との宣誓がありました。



学長あいさつ

令和2年度 学位記授与式

令和3年3月25日(木)、昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)で、学位記授与式が挙行了されました。新型コロナウイルス感染症対策のため卒業生及び修了生、教職員のみ参加とし、保護者及び来賓の方不在の中、工学部卒業276名、博士前期課程修了43名、博士後期課程修了4名、以上323名が本学の学び舎を巣立っていきました。

学長から

「令和2年度は新型コロナウイルス感染症で開け、過ぎたといえますが、集団感染という事態にも至らず乗り切れたことは学生の皆さまの協力と学ぶとする意欲の結果だと考えています。学位記はこれまでの様々な努力が形になり、それに叶うだけの学修、研究を積まれた事の証と言えます。

この佳き日を迎えられたこと、自らの努力はもちろんですが、多くの方のご支援があったことも心に留め、感謝を忘れないでください。

皆さまのこれからのご活躍を心よりお祈りして、門出をお祝いの言葉といたします。」と式辞が述べられました。

卒業生代表者から

「熱心なご指導や、学友たちの励ましにも支えられ、この佳き日を迎えることができました。

卒業を節目に様々な道に向かって進んでいきます。自覚と誇りを持ち、どの様な壁があっても乗り越え努力し続けることを約束します。」と答辞がありました。



答辞

前橋工科大学が生まれかわります！

その2

現行 (在学中の学生が卒業するまで維持されます)

- 社会環境工学科
- 建築学科
- 総合デザイン工学科
- 生命情報学科
- システム生体工学科
- 生物工学科



再編後 (令和4年度入学生から)

建築・都市・環境工学群 (学科相当)

- 土木・環境プログラム
- 建築都市プログラム
- 工学デザインプログラム

情報・生命工学群 (学科相当)

- 情報システムプログラム
- 医工学プログラム
- 生物応用プログラム

多様化・複雑化する社会において、「幅広い知識・俯瞰的視野を持つ人材」の育成が求められています。

前橋工科大学は6学科で深い専門教育を行ってきたが、自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築をめざして、令和4年度入学生から6学科を2学群に再編成します。

6学科で培ってきた専門性を活かしつつ、学修の幅を広げる教育を実施するとともに時代の変化に応じた迅速かつ柔軟な教育プログラムを提供する大学に生まれ変わります。

令和4年度から、一般選抜入試は学群単位で実施され、2年進級時にプログラムを選択することになります。

現在在学中の学生には現行6学科での教育が卒業するまで実施されます。

前橋工科大学が生まれかわります

後援会助成事業

総会

例年大学にて開催しておりました後援会総会について、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、大学内会場での開催を中止し、後援会の会員皆様には「後援会総会の書面表決について」のご案内状と返信はがきを送付し、書面にて参加いただきました。

お忙しい中、ご審議いただきまして誠にありがとうございました。ご報告させていただきます。

- ① 会員数 1、247名
- ② 返信数 623名

- ・議案第1号 賛成 623名 反対0名
- ・議案第2号 賛成 623名 反対0名
- ・議案第3号 賛成 623名 反対0名
- ・議案第4号 賛成 623名 反対0名
- ・議案第5号 賛成 623名 反対0名

全ての議案をご承認を賜りましたので、可決致しました。事業報告及び決算報告等の詳細につきましては、前橋工科大学後援会ホームページの「事業について」内に掲載しましたのでご参照ください。

令和3年度の事業につきましては、学科・専攻支援、学生団体活動支援、環境整備等、群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン」の状況を注視しながら、大学に添った支援を随時おこなって参ります。

後援会では学生たちがより充実した学生生活を送ることが出来るよう、各事業を実施しております。会運営にご協力いただける役員を募集しております。

高校までのPTA活動とは異なり、各種資料作成や発行物等を作成していただくことはございません。役員会にご出席いただき、後援会の事業計画や予算等について審議をお願いしております。是非、ご協力をお願いします。

令和3年度予算

(収入)		(単位：円)
項目	本年度予算額	説 明
1 会 費	14,600,000	@50,000×267名、@40,000×5名、@30,000×7名、@20,000×42名
2 繰 越 金	9,764,672	前年度繰越金
3 雑 入	328	利息加入等
収入合計	24,365,000	

(支出)		目		説 明
項目	本年度予算額	区 分	金 額	
1 会 議 費	500,000	1 会 議 費	500,000	総会、役員会、懇談会、合同新年会等
2 総 務 費	3,541,000	1 交 際 費	50,000	入学式・学位記授与式生花等
		2 需 用 費	550,000	事務用品、書面総会用はがき印刷等
		3 役 務 費	300,000	通信費、振込手数料
		4 委 託 料	2,641,000	事務委託料
3 事 業 費	16,350,000	1 事 業 費	3,000,000	会報作成、卒業記念品、大学バッグ作成等
		2 助 成 費	13,350,000	学園祭助成（翌檜祭） 1,000,000
				学校・学科助成 2,000,000
				部活動助成 1,800,000
				学生・福利厚生助成 500,000
				教育支援助成 2,000,000
				生協助成 5,000,000
				就職活動助成 1,000,000
6 予 備 費	3,974,000	1 予 備 費	3,974,000	保健助成 50,000
支出合計			24,365,000	

教育活動支援事業

後援会では学生の語学力向上や専門分野の学習促進に繋げるための支援も行っています。

本学では、代表的な英語検定試験のひとつであるTOEIC L&Rテストを受験して基準の成績を収めた学生に対し、「キャリアTOEIC」の単位を認定しています。

TOEIC受験料支援

「聞く」「読む」英語力を測る事を目的としたTOEIC L&Rテストは年12回、全国80都市で会場受験可能です。後援会では会員学生1人につき1回2,000円、年間2回（合計4,000円）の受験料支援を行っています。（学部1年生は4月にTOEIC I Pを全員受験したので、288名の会員生に対して助成を行いました）

学科・専攻助成支援

後援会では、全学科に対し、会員学生の学生生活充実のため「オリエンテーションに係る費用」「作品集作成費用」などの支援をおこなっております。警戒度が緩和された第1弾として、総合デザイン工学科に助成をおこないました。今後、他学科にも助成をする予定です。

総合デザイン工学科

デザイン基礎演習のエクスカッション

令和3年10月23日（土）に1年生37名、引率6名にて「大谷資料館」日光駅周辺「日光東照宮」を見学して廻る校外学習を実施しました。

大谷資料館では、実際の採掘現場体験をし、日光東照宮では講師陣の解説に多くの学生が熱心に耳を傾けていました。歴史的建造物、観光空間、現代アートから感じた事を、今後の学びに役立てていただきたいと思います。



福利厚生支援事業

学生が生協を有効に活用できるように「生協利用券」を発行しました。

学生1名につき3000円の券を10枚綴りで計30000円分の支援をしています。

有効期限は令和4年3月18日までとなっています。おつりは出ませんが、生協売店や食堂にて利用できますので、学生の皆さんは工夫して日々の学生生活に役立っています。

また、先日の役員会にて緊急学生応援として、「生協利用券」の追加配布を決定いたしました。

昨年同様、学生1名につき3000円の券を10枚綴り計30000円分を追加配布いたします。

有効期限も同日となりますので、是非ご活用ください。後援会では、学生生活に寄り添った支援を実施してまいります。



生協利用券

就職活動支援事業

毎年、就職活動を行う学生向けのワークブックとして後援会が就職支援として作成している就活手帳を今年度も作成し、学部3年生、院1年生に配布します。

2年間分のスケジュールを始めとし、自己分析↓マナー↓アプローチの仕方↓試験↓内定を掴むまでのポイントまでを網羅した就職活動に必要なコンテンツ満載の支援ブックとなっています。

スケジュール管理も可能で就職活動中の強い味方です。進路実現に向けて、是非ご活用ください。

ダンボール椅子展について

前橋工科大学1号館にて「ダンボール椅子」の展示が行われました。

建築学科2年生が「建築設計Ⅰ」の最初の課題として、ダンボール2枚（w1400×h2000×t5mm/8mm）を折ったり、曲げたり、編んだりすることで、自分を、人間を支えることのできる椅子を、約1か月かけて制作します。

誰が、どういう状況で座るかのシチュエーションを自由に設定しながら、スケッチやモデルで検討しつつ、壊れない椅子、座りやすく快適な椅子を目指します。用途（機能）、構造的強度、美しさは、いつの時代にも建築物／造形物に求められる要請ですから、材料を使い切ること、糊を使わないことも課題条件に据えていて、廃棄物を出さないことも、私たちは大切にしています。

（建築学科長 石川恒夫）



2021年6月29日火 - 7月6日火

開催場所 前橋工科大学1号館4F・5F廊下

このたび、前橋工科大学 工学部 建築学科2年生の建築設計課題「ダンボール椅子」の展示を行います。限られた材料で何ができるか、使い勝手と美しさを両立できるか、社会からの要望に正しく応えられるか、建築の仕事に携わる際、絶えず自分自身が求められます。ダンボール椅子についても、ダンボールという素材の特徴を理解し、接着剤も塗料も使わず、糊材を強力出さない工夫によって、ユニークかつ環境に負担をかけない椅子を創り出しました。その中には、リモートワークを支える椅子、コミュニケーションを促す椅子、ライフスタイルそのものを提案したアイデアも見られます。学生たちの様々な感性、ものづくりに注ぎ込まれた情熱に触れていただきたいと思います。

主催：前橋工科大学 工学部 建築学科
特別教員：石川恒夫 佐藤 大輔 大竹 海 佐藤 祥弘 石川 智也（大） 岡田 健太（大）
協力：（教）カノー船橋



エンジニアリングデザインワークショップの作品展示について



総合デザイン工学科2年生の授業「エンジニアリングデザインワークショップ」で制作した「小屋」が4作品、前工大キャンパス中庭に12月下旬まで展示されます。

これらの「小屋」は、「なんらかの構造システムによって空間表現がなされている／人が中に入れる大きさである」ことを条件として、構想2ヶ月・制作6日かけてグループワークで造られたものです。材料が、合板（面材）か角材（線材）のどちらか一方しか使用できないことも条件の一つとなっています。

4作品はそれぞれ個性的で、見るだけでなく中に入って楽しむこともできます。本学にお立ち寄りの際は是非ご覧ください。

（総合デザイン工学科 稲見成能）



卒業後の進路

令和3年3月末日現在

令和3年3月卒業生の就職先

※一部抜粋して掲載

大学(学部)	社会環境工学科	(株) 植木組 (株) エイト日本技術開発 (株) オウギ工設加和太建設 (株) 他
	建築学科	(株) 池田建築設計事務所 (株) 河島建具 (株) 空建築事務所 国立大学法人群馬大学 他
	生命情報学科	(株) アップル (株) インテック (株) ヴァル研究所 SCSK (株) NDS (株) (株) エフコム 他
	システム生体工学科	(株) ユニクス NTT東日本グループ会社 (株) エム・フィールド キヤノン・コンポーネンツ (株) 他
大学院	生物工学科	アース環境サービス (株) (株) 足利銀行 越後製菓 (株) (株) 柿安本店 他
	総合デザイン工学科	(株) イーエムエス (株) 河村佐藤デザイン (株) コトブキ (株) さくら 佐田建設 (株) 他
	建設工学専攻	(株) 大林組 (株) 環境技術研究所 佐田建設 (株) 日本水工設計 (株) 他
	システム生体工学専攻	朝日インテック (株) NECソリューションイノベータ (株) 他
大学院	建築学専攻	(株) NTTファシリティーズ (株) 木暮総業 スタジオシナプスー級建築士事務所 他
	生物工学専攻	(株) 江東微生物研究所 タマムラデリカ (株) 日本ピュアフード (株) 他
	生命情報学専攻	アイリスオーヤマ (株) (株) サイオステクノロ ジー ドコモ・システムズ (株) 他

※詳細は大学キャリアセンターHPをご覧ください。

<https://www.maebashi-it.ac.jp/career-center/>

令和3年3月卒業生の大学院進学先

大学(学部)	社会環境工学科	前橋工科大学大学院
	建築学科	千葉大学大学院 筑波大学大学院 他
	生命情報学科	電気通信大学大学院 前橋工科大学大学院
	システム生体工学科	前橋工科大学大学院
大学院	生物工学科	茨城大学大学院 筑波大学大学院 他
	総合デザイン工学科	前橋工科大学大学院
	建築学専攻	前橋工科大学大学院
	生命情報学専攻	前橋工科大学大学院



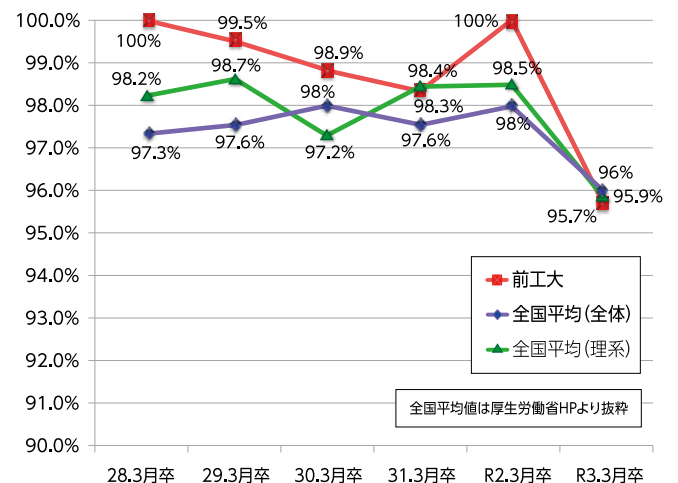
令和2年度 学部卒業生 就職・進学状況

工 学 部 名	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率	大学 院 進 学 者	専門学校等 進 学 者	そ の 他
社会環境工学科	49	43	43	100.0%	6	0	0
建築学科	55	37	33	89.2%	16	0	2
生命情報学科	42	29	26	89.7%	11	0	2
システム生体工学科	46	22	22	100.0%	23	0	1
生物工学科	45	22	21	95.5%	21	0	2
総合デザイン工学科	40	33	33	100.0%	2	1	4
合 計	277	186	178	95.7%	79	1	11

令和2年度 大学院修了者 就職・進学状況

工 学 研 究 科 専 攻 名	修了者数	就職希望者数	就職者数	就職率	後期課程 進 学 者	専門学校等 進 学 者	そ の 他
建設工学専攻	9	9	9	100.0%	0	0	0
建築学専攻	11	10	10	100.0%	1	0	0
生命情報学専攻	4	4	4	100.0%	0	0	0
システム生体工学専攻	13	13	13	100.0%	0	0	0
生物工学専攻	6	5	5	100.0%	0	0	1
環境・生命工学専攻	4	0	0		0	0	0
大学院前期課程合計	43	41	41	100.0%	1	0	1
大学院後期課程合計	4	0	0		0	0	0

学部学生就職率の推移



※就職率は、卒業年度中に就職活動を行い、卒業後速やかに就職を希望する者であり、進学・自営業・家事手伝い・留年・資格取得等を希望する者は含まない。

後援会からのお知らせ

後援会活動についての詳細は、下記ホームページをご覧ください。

学生たちがより充実した学生生活を送る事が出来るよう、保護者の皆様から後援会に対するご意見・ご要望などをお寄せいただきたいと思います。また、後援会に対するお問い合わせや情報提供もお待ちしております。

前橋工科大学後援会事務局 (前橋工科大学学務課学生支援係内)

〒371-0816 前橋市上佐鳥町460-1

TEL : 027-265-7361 FAX : 027-265-3837

E-mail : kouenkai@maebashi-it.ac.jp

ホームページ : <https://www.maebashi-it.ac.jp/kouenkai/>

